

月 影



第61号

別れても
また会える
浄土あり



いつまでも
一緒にいたいと願っても

別れの時はやって来る

別れを避けることはできないが

この世の別れは一時の別れ

地上に降った雨が

再び空へ帰っていくように

私たちの命も浄土へ帰り

大切な人と再会する



文殊菩薩

文殊の智慧

「三人よれば文殊の智慧」のことわざのように、文殊菩薩は「智」をつかさどる菩薩として観音菩薩に次いで、厚く信仰されています。

実在の菩薩

マンジュシュリーを音訳して文殊師利と書き、略して文殊菩薩と呼ばれています。

文殊菩薩は、お釈迦様のご入滅の後に生まれになった実在の人物であったという説があり、經典の編纂に深く関わったと伝えられています。

文殊菩薩の姿

髪は宝髻（長い髪を頭の上へ結び上げた姿）、身は装身具で飾り、左手には經典、右手には宝剣を保持しています。經典と剣は智慧を象徴しています。

文殊菩薩の形は、時代や經典、信仰によって様々な姿に表されています。

獅子に騎る

阿弥陀様の両脇に観音菩薩と勢至菩薩がおられるように、お釈迦様の両脇には文殊菩薩と普賢菩薩がおりる場合があります。

その時は、文殊菩薩は獅子に、普賢菩薩は白い像にのっているのが一般的な形です。



安倍文殊院 hp より

日本三大文殊

- ・ 奥州 亀岡文殊
- ・ (大聖寺・山形県)
- ・ 天橋立 切戸の文殊
- ・ (京都府 宮津市)
- ・ 大和 安倍の文殊
- ・ (安倍文殊院・奈良県)

右の写真は、奈良の安倍文殊院の国宝 渡海文殊（とかいもんじゅ）です。大仏師、快慶が造立しました。

永観堂だより

中西管長退山式

去る五月二十八日。本山永観堂で、中西玄禮管長の退山式が行われました。

平成二十二年から八年間。様々な場面で僧侶としてのあり方を教え導いて頂きました。



大殿での法要

当日は、大殿において、来賓寺院・一般寺院・寺庭婦人会・報道関係者等が見守る中、退山式の法要が執りおこなわれました。

法要後、大殿から大玄関まで続く花道で、多くの方に見送られながら、永観堂を後にされました。



見送られる中西管長

仏教歳時記



夏安居の手桶で運ぶ風呂の水

升本行洋

僧侶の修行期間

安居あんごとは、雨期の期間、僧侶たちが同じ場所にこもって修行することをいいます。

安居は梵語ぼんごで「雨期」の意味があり、もともとインドの雨期の三ヶ月間、托鉢たくはつの修行をするかわりに屋内で修行することを定めたものです。

我が宗派でも毎年六月、本場で夏安居が開かれます。



仏事の 質問帖



問 「お線香の長さには色々ありますが、どの長さを使えばいいのでしょうか？」

答 お線香の長さは、法要の長さに合わせて使いましょう。

月参りなどの短い法要では、短寸（約15cm）の線香、法事など長い法要では中寸（約20cm）のお線香を使われると良いかと思えます。
長過ぎるお線香は半分に折って使います。

お線香と同様に、ロウソクの長さも法要の長さに合わせて使います。
箱に燃烧時間が書いてあるので参考にされると良いかと思えます。



雑記抄

〳 西山にて〳
浄土宗 西山禅林寺派の派祖、西山上人（せいざんしょうじゆん）は、師である法然上人の亡き後、西山の善峯寺よしみねでらの北にある三鈷寺さんこじに住まわれ、

ここから念仏の教えを広められました。この西山の地にちなんで「西山上人（せいざんしょうじゆん）」と呼ばれるようになった。▽当時の三鈷寺は現三鈷寺よりも山中にあり、現在建物はありません。その跡地の清掃奉仕を、毎年宗派（京都支所）寺院でおこなっています▽今年も



三鈷寺往生院跡

約五十名で一年分の落葉等を掃除しました。清掃後、西山上人の遺徳を偲びながら、皆で読経し、下山しました▽へ生きて身を蓮（はちす）の上に宿さずば念仏申す甲斐やなからん〳西山上人御歌

平成三十年六月三十日発行

浄土宗西山禅林寺派

常林院